



高野さんと愛猫・ソフィーちゃんを抱っこする奥さん

# 建設従事者の役割を発揮し 地域での信頼関係を構築

《職域対策部発》災害対策の取り組み



チームナマズ全体会議（昨年11月27日）で行なわれた倒壊家屋からの救助訓練

2011年東日本大震災後、地震災害だけでなく他の自然災害も多くなっています。昨年は、年初めの大雪被害、6月の大阪北部地震、7月の西日本豪雨災害、災害級と言われた猛暑、8月と9月の巨大台風、9月の北海道胆振東部地震と災害が多発した年でした。今後、首都直下型地震

や東南海地震などによる被害が想定される中で、建設労働組合として地域の住民・町会・自治会・学校・消防署そして自治体と連携した活動が求められています。この間の東京土建の災害対策活動を報告し、2019年度の職域防衛災害対策活動を紹介しします。

## 35自治体と協定締結

### 東京土建の災害対策活動

【本部・松山高幸記】19

95年1月に発生した阪神淡路大震災での復旧や救出活動に、地域建設従事者が果たした役割は広く知られていいます。東京土建が本格的に防災まちづくり活動に取り組む契機となった大災害でした。

2011年に開催された第64回大会にて、地域建設従事者の技術技能を發揮できる社会貢献活動を進める主体となる「まちの救助隊・チームナマズ」の活動を提起了しました。

災害対策は自治体との連携が欠かせない社会の要請にこたえる課題であることから、地

域建設労働組合としての職域防衛の視点からも全都の基礎自治体との「災害時協定」の締結をめざしてきました。

#### まちの救助隊 全都29支部に

まちの救助隊は2019年1月、荒川支部が結成を予定し、全都29支部に広がります。

災害時協定は、東京都内62自治体の過半数を超える35自治体と締結されており、協定内容の資金規定には設計労務単価を取り入れている自治体もあります。

各支部で進める住宅デーや地域イベントに建設従事者としての技術・技能をアピールする企画や消防署、自治体、社会福祉協議会などとの連携を進め、地域に建設労働組合としての社会貢献活動を広げてきました。

## 昨年の活動の特徴

### 進むブロック塀の点検

岡山県倉敷市真備町での応急仮設木造住宅建設への労働者供給の取り組み

○豊島支部

全国木造事業協会が取り組む岡山県での2現場の建設が確定し、東京都連を通じて大職の労働者供給を行ないました。8月23日から9月15日まで倉敷市岡田仮設団地現場に従事しました。東京都連は12人（うち東京土建は3人）が従事しました。

大阪北部地震被害を教訓に自治体や地域諸団体と連携し



岡山豪雨の被災現場

### 宮城県での取り組み

宮城県では1978年、宮城県沖地震でブロック塀や石塀、門柱の倒壊による死者18人（全体死者28人）の経験から、2002年から毎年通学路のブロック塀の点検を行なっています。危険性が高いブロック塀の数は、県内で536カ所あったものが2017年では88カ所（仙台市を除く）まで減少しました。地域建設関係団体と自治体が共同し、定期的な点検活動と危険なブロック塀を公表しつつ、所有者に粘り強く働きかけを行なってきた。東日本大震災では、倒壊による死者は確認されませんでした。

域の小学校通学路のブロック塀を中心としたウォッチング活動に取り組み、空き家についても点検しました。区で設置したスタンドパイプと消火栓を4〜5人のグループでチェック、写真を撮って区に報告し、補助金を要請。補正予算でブロック塀点検・改修に補助金が確保されました。

○日野支部  
昨年7月に大阪を視察し取り組みを計画、日野市庶務課や市の職員組合幹部と協力した点検となりました。

○西東京支部  
昨年7月の大阪視察に続き8月、市議会各会派、市職労と協力し、地域の小学校通学路のブロック塀の点検活動に取り組みました。新しい会派や市の職員組合幹部と協力した点検となりました。

板橋区内の危険度の高い地域

○板橋支部

第70回大会のなかで、東京土建職域対策部の運動の基調として、地域活動を広げるとして

## 我が家の防災対策

### 高野家は愛猫優先

災害が起きた時、最も基本となるのが、一人一人が自分の身の安全を守ることです。皆さんは災害が発生した時のために、何か備えをしておいてお話を聞きました。

高野さんによると、まず自治体などが作っているハザードマップ（災害被害等の予測地図）で、自分の住んでいる地域にどのような災害の恐れ

があるのかを調べたそうです。高野家の場合は、まず水害の危険は少なく、考えられるのは地震とか、雪による閉じ込めなどか。

3日で食料が届くらしい」と言います。またお二人には山登りの趣味があり、バーナーやクッカーなどの山ごはんを楽しむためのグッズがあるの

## 地域貢献活動を重点 技能者の存在意義広げる



西東京支部の点検活動

引き続き社会の要請に応える地域貢献活動と位置付け、災害対策を進めます。

○まちの点検活動として、ブロック塀の点検活動のように自治体や地域諸団体と共同し、信頼関係の構築につながる防災ウォッチング活動に取り組みます。

○まちの救助隊の自宅を中心に、家具転倒防止器具の取り付けをすすめて、災害に備えます。